

## 【授業科目】 科学的思考論

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー	教職員への授業公開
大八木 麻希	1年次前期	選択	1	15	講義	巻末掲載	可
授業概要 (内容と進め方)	<p>日常生活や環境の中で科学に関連する事象を学び、科学的見地から物事の捉え方を学んでもらう。医療現場で自身の考えや確かな情報により、科学的な思考をできる力を養う。</p> <p>適宜、テーマに沿った資料をもとに講義形式で行う。</p> <p>提出された小レポートについて、添削及びコメントをつけて返却を行う。</p>						
授業の位置づけ	<p>本学のディプロマポリシー⑤「将来に向け臨床検査を主体的に学び、臨床検査の専門職としてのキャリアを伸ばせる能力を持つことができる。」の達成に寄与している。</p>						
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	<p>①科学的なものの見方を身につけることができる。                  ②社会の事象について自身の考えを持つことができる。                  ③物事について興味関心をもち、適切な資料を情報収集できる。</p>						
時間外学習に必要な学修内容および学習上の助言	<p>授業計画に示した各回のテーマを、参考文献などで予習して、重点、問題点等を検討した上で授業に臨むことを推奨する(30分)。また、関連するニュースや書籍に日頃から関心を持ち、講義の理解に役立ててほしい。さらに、講義後には復習し講義内容の定着化を心掛けること(30分)。</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合:予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合:予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合:予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>						
授業計画	<p>第1回 ガイダンス</p> <p>第2回 科学的ということ</p> <p>第3回 科学と技術</p> <p>第4回 科学と発明</p> <p>第5回 ニセ科学を考える</p> <p>第6回 科学と人間観</p> <p>第7回 科学と社会観</p> <p>第8回 科学と環境</p>						<p>全て 大八木</p>
評価方法 評価基準	<p>小レポート30%、レポート70%</p>						
教科書	<p>なし 適宜資料を配布する。</p>			<p>参考書等</p>	<p>戸田山和久「科学的思考」のレッスン、NHK出版新書、2011年、946円</p>		
学生へのメッセージ	<p>日頃から関連事象についてニュースなど関心をもち、積極的に取り組んでください。</p>						